

(表)

不 動 産 り 災 状 況 調 書										
1	(あて先) 名古屋市 消防署長 住 所 り災者 氏 名									
2	り災物件と提出者との関係			り 災 物 件 の 所 在 地						
	所有者・管理者・占有者			区		町		番 号		
3	建 築 年 月		購 入 年 月		建築又は購入金額					
	推定・記録・記憶		推定・記録・記憶		推定・記録・記憶・不明					
	年 月		年 月		3.3 m ² (1 坪) 当たりの金額			総 金 額		
4	取 得 後 の 経 過									
	年 月		修繕・改築した箇所			修繕・改築に要した金額				
	年 月									
	年 月		増 築 の 概 要			増築面積		増築に要した金額		
	年 月					m ²				
5	り 災 前 の 建 物 詳 細									
	建物用途	屋 根	外 壁	階 数	延 面 積	居住者内訳				
						世帯数		人 数		
					m ²					
6	建 物 以 外 の り 災 状 況									
	り災物件名		り 災 の 別		数量または面積		経過年数		時価による損害見積額	
			焼・消・爆				年			
			焼・消・爆				年			
			焼・消・爆				年			
			焼・消・爆				年			
7	火 災 保 険 の 契 約									
	契約会社名		契約年月		保険金額		契約会社名		契約年月	
8	摘 要									

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4 とする。

(裏)

記 載 要 領

(2 の欄について)

り災物件と提出者との関係欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

(3 の欄について)

各欄の記入にあたって、それが推定によるものか、記憶に基づくものか、あるいは帳簿や契約書などの記録によって明らかなものであるか、いずれかによってあてはまるものを○で囲んでください。総金額とは、り災した建物の総計金額のことです。

(4 の欄について)

建物を取得してからり災するまでの間に、修繕または改築した箇所を具体的に書いてください。

(5 の欄について)

建物用途の欄は住宅、店舗、倉庫、物置、作業場または工場のように使用されている用途を記入してください。坪を平方メートルであらわす場合は 3. 3 倍して下さい。

(6 の欄について)

- 1 り災物件の欄は、へいの類、庭木の類、看板など、り災した物を記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。なお、焼、消、爆の意味は次のとおりです。
 - (1) 焼 燃えたもの、熱で侵されたもの、煙で汚れたものなど。
 - (2) 消 消火するために壊れたもの、ぬれたもの、汚れたもの、運び出すときに落して壊れたもの、避難するときに壊したものなど。
 - (3) 爆 爆発により壊れたものなど。

〔備 考〕

- (1) あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を摘要欄に記入してください。
- (2) この調書は、り災した日から起算して4日以内に提出してください。
- (3) この調書は、建物1棟について1枚を使用してください。